

平成 26 年度  
発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業  
(発達障害理解推進拠点事業)  
成果報告書 (概要版)

実施機関名 ( 香川県まんのう町教育委員会 )

1. テーマ

保育者が、発達障害幼児の全般的な理解を基に特性の把握方法を学び、個々の子どもの状態に応じた支援を創意工夫することができ、保護者と共に支援することをめざして

2. 問題意識・提案背景

幼児教育では特別支援教育が十分な状況ではない。幼児期は、発達の未分化や個人差も大きいために定型発達児と発達障害児の区別が困難であり、保育者も保護者も成長発達に期待し見過ごされてしまう。そこで、発達障害の可能性のある子どもがその困難を顕在化させる前から幼児期において早期発見・支援を実現することは非常に意義がある。保育者の気づきを客観化するために、発達障害の認識を深め、適切な対応方法を身に付けることが強く求められている。

本町では、平成 24 年度から外部専門家と町職員が各保育所・幼稚園を巡回訪問し、「気になる子」の見取りと支援について保育者に助言を開始し、平成 25 年度からは、外部専門家に依頼して「早期支援教育チーム」を町教委内に設立し、必要に応じて各園を巡回する体制が構築された。そこで、保育者の見取りと支援のスキルアップのために外部の専門家からの助言を得るため、本事業により研修機能の一層の充実を図りたい。

3. 拠点園について

○ 拠点園一覧

設置者	学校名 (ふりがなを付すこと)
まんのう町教育委員会	まんのう町立 <sup>ちょうりつまんのうみなみようちえん</sup> 満濃南幼稚園

○ 理解推進地域内の幼稚園・保育所一覧

設置者	学校名 (ふりがなを付すこと)
まんのう町教育委員会	まんのう町立 <sup>ちょうりつしじょうようちえん</sup> 四条幼稚園
まんのう町教育委員会	まんのう町立 <sup>ちょうりつたかしのようちえん</sup> 高篠幼稚園

まんのう町教育委員会	まんのう町立長炭幼稚園 <small>ちょうりつながすみようちえん</small>
まんのう町教育委員会	まんのう町立仲南東幼稚園 <small>ちょうりつちゅうなんひがしようちえん</small>
まんのう町教育委員会	まんのう町立仲南北幼稚園 <small>ちょうりつちゅうなんきたようちえん</small>
まんのう町教育委員会	まんのう町立琴南保育所 <small>ちょうりつことなみほいくしよ</small>
まんのう町教育委員会	まんのう町立長炭保育所 <small>ちょうりつながすみほいくしよ</small>
まんのう町教育委員会	まんのう町立満濃南保育所 <small>ちょうりつまんのうみなみほいくしよ</small>
まんのう町教育委員会	まんのう町立仲南東保育所 <small>ちょうりつちゅうなんひがしほいくしよ</small>

#### 4. 拠点園における取組概要

本事業の研修体制としては、拠点園の全教職員対象の「基礎研修」として気づきと支援の基本的事項のスキルアップを図り、中核的な教員対象の「専門研修」では見取りと支援の一層のスキルアップと保護者対応、及び教職員へのアドバイス力の向上を目指した。その上に、拠点園の中核教員においては、他園の中核的な教員との相互ネットワークの要としての役割も期待した（「応用研修」と「ネットワークの構築研修」）。

- 「基礎研修」を早期支援教育コーディネーターが分担し6回実施した。
  - ①「発達障害の基礎的理解について」、②「子どもの“わからない”を“わかる”にするために～個別の指導計画から考える～」、③「発達障害と愛着の問題について」、④「つながりのある連携をめざして」、⑤「コミュニケーションについて考えよう」、⑥「早期支援教育コーディネーターの全体的な取り組み」
- 「専門研修」を外部の専門家と早期支援教育コーディネーターが分担し6回実施した。各園の気になる子について、個別の指導計画である「かりんシート」を基に子どもの特性から有効な支援の候補を絞り、支援を実施した。その後、評価を行い支援経過に沿って継続的なアドバイスを受けた。ここでは、各種のシートを開発し、共通理解を図っていった。
- 拠点園の全園児対象の研究授業（障害のある友だちとのかかわり方）を2回実施した。
- その他の取り組みとしては、拠点園の中核的な教員が他園の中核的な教員と連携し、情報交換だけでなく適切な助言を行った。

## 5. 主な成果

今回の研修に参加した教職員からのアンケート結果を要約した。

- ・早期支援教育コーディネーターと外部の専門家からの研修会は、現場に即した研修となり非常に成果が上がった。子どもの様子を見ながらの研修会となり、有効な助言が得られた。
- ・中核的教員や管理職からは、専門知識が深められ、園全体の共通理解が図れた。
- ・地域の中核的な教員からは、実際の子どもの様子から事例検討を行うことができ、実際的な支援の方法を具体的に学ぶ機会となった。また、支援のための各種シートの試案が作成できた。1日参観は、園全体の流れの中で子どもと先生の様子を参観することができ、大変よかった。
- ・保護者や地域住民対象の講演会では、DVD ビデオの視聴があり障害のある本人の困り感が非常にわかりやすかったことや支援の方法も具体的で家庭でもやってみようと思えたことなどが挙げられた。
- ・全園活動を担当した中核的な教員からは、職員間の共通理解と協力体制を改めて認識し、子ども理解の重要性を再確認し、「特別支援教育＝幼児教育」の認識を強くしたとの感想を得た。
- ・拠点園の中核的な教員からは、専門的な知識を広げ深めることができ、学会に参加することで全国的な動向がわかったとの感想を得た。
- ・拠点園の管理職からは、園の教職員全体の共通理解が深まり、配慮や手立ての方向性がはっきりしてきたとの感想があった。

なお、「基礎・専門研修」の資料は、町内全ての保育所・幼稚園の保育者に配布し、成果の共有化を図りたい。

## 6. 今後の課題と対応

- ・研修会の回数が多い月もあり、負担が大きい時もあった。月1回程度を目安にする。
- ・今後の研修においては、「基礎・専門研修」の内容について繰り返しのものと発展するものに仕分けしていく必要がある。
- ・各園の中核的な教員のさらなるスキルアップと連携のために、担当の子どもに対して各種シートの有用性の検討を行い、現場で役立つものに改変していくための事例検討会を、拠点園の中核的な教員を中心に運営していきたい。
- ・全園活動では、活動内容を子どもの立場に立ったものに改善し、子ども主導としていきたい。
- ・1日参観ができない先生方には、後からVTRを視聴してもらう。
- ・保育士と幼稚園教諭の勤務時間を調整することが必要となった。1日の時間帯の研修では、最も望ましい時間帯として13時30分～15時に設定する。
- ・保護者や地域住民対象の講演会は、11月に実施したために、他の行事との関係から参加者が少なく残念であった。来年度は、1学期中に実施したい。

## 7. 問い合わせ先

組織名：まんのう町教育委員会

- (1) 担当部署           まんのう町 教育委員会 学校教育課
- (2) 所在地           香川県仲多度郡まんのう町吉野下 430
- (3) 電話番号         0877-73-0108
- (4) FAX 番号         0877-73-0113
- (5) メールアドレス   [ta-nagata@town.manno.lg.jp](mailto:ta-nagata@town.manno.lg.jp) (長田)